

2011年9月30日

日本産業教育学会会員 各位

第52回大会実行委員会
丸山剛史(宇都宮大学)

お詫びとお知らせ

拝啓

初秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

『産業教育学研究』第41巻第2号(2011年7月)掲載の大会案内では、9月上旬に大会プログラムを送付することになっていましたが、大会準備の都合により、大会プログラムの送付が遅れてしまいました。ご心配ならびにご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。誠に申し訳ありませんでした。

また、大会準備作業を進めるなかで、大会期間中にジャパンカップ・サイクルロードレースおよび日本高血圧学会総会が開催されることがわかり、宿泊先を確保することが困難になっていることもわかってきました。宿泊先が確保できないでお困りの方は、大会実行委員会・丸山までご連絡ください(e-mail: marusan@cc.utsunomiya-u.ac.jp fax: 028-649-5336 tel: 090-3514-1081)。

郵便振替用紙による参加費等の支払いに関しては、郵便振替用紙に「10月11日」と記載しましたが、発送が遅れたため、10月14日(金)までお待ちします。円滑に受付作業を行うために、事前の振り込みにご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、大会案内では「未定」となっていた大会第1日目のシンポジウム・企業内教育・実務担当者に関しては、日産自動車・栃木工場・総務部人事課長の田島鉄也氏に報告を引き受けていただくことができました。田島氏は入社以来人事部門を中心に業務に従事し、本社・工場・海外と幅広く経験を積まれてきた方です。貴重なお話を聞かせていただけるものと思います。あわせてご案内しておきます。

それでは、皆さまのお越しをお待ちしております。どうかよろしくお願いたします。

敬具

日本産業教育学会第 52 回大会

プログラム

日時： 2011 年 10 月 22 日（土）～24 日（月）

会場： 宇都宮大学・峰キャンパス

日本産業教育学会第 52 回大会実行委員会

目 次

1. 日程	2
2. 大会要項	3
3. 記念講演・シンポジウム	5
4. 自由研究発表	6
5. 部会	10
6. 見学会	12
7. アクセス	12
8. 会場	13

1. 日程

日	時間	内容	棟・教室
10月 22日 (土)	11:30~12:30	理事会	生涯学習研究センター・A講義室
	12:00~	受付	共通教育棟・1121 教室 入口
	13:30~18:00	記念講演・シンポジウム	1121 教室
	18:15~	懇親会	大学会館・1階・食堂
23日 (日)	8:30~	受付	教育学部棟玄関
	9:00~12:00	自由研究発表 A分科会 B分科会 C分科会 D分科会	2201 教室 2202 教室 マルチメディア1 教室 マルチメディア2 教室
	13:00~14:30	総会	2101 教室
	14:30~17:00	部会 企業内教育部会 高校職業教育部会 専修学校部会 職業指導・進路指導部会	2201 教室 2202 教室 マルチメディア1 教室 マルチメディア2 教室
24日 (月)	9:00	集合	宇大・峰キャンパス・正門
	10:00~15:00	①コマツ・小山工場 ②関東職業能力開発大学 校	
	15:00	解散	宇大・正門あるいは現地

2. 大会要項

- (1) 期 日 2011年10月22日(土)～24日(月)
- (2) 会 場 宇都宮大学・峰キャンパス(栃木県宇都宮市峰町350)
- (3) 受 付 ・大会1日目(22日)は12時30分から共通教育棟1階1121教室入口、大会2日目は8時30分から教育学部棟1階玄関で受付を行います。

	事前登録		当日受付	
大会参加費	会員	3,000円	会員	3,500円
	一般	3,500円	一般	4,000円
	院生・学生	2,000円	院生・学生	2,000円
懇親会費	会員・一般	4,000円		
	院生・学生	3,000円		

- (4) 研究発表 ・個人発表・共同研究発表とも、1件の発表時間は20分、質疑5分です。また、各分科会ともすべての発表・質疑終了後、総括討論を行います。
- ・自由研究発表会場では、経過時間を知らせるために、ベルを鳴らします。15分で1鈴、20分で2鈴、25分で3鈴の合図をします。
 - ・発表辞退者が生じた場合でも発表時刻及び発表順序の変更は行いません。
 - ・研究発表用の配布資料等は、各自が必要部数(40部以上)を持参してください。資料の事前送付はトラブルのもとになります。ご遠慮ください。
- (5) 懇親会 ・第1日目(10月22日)の夕方、18時15分～19時30分(予定)まで、大学会館1階生協食堂で行います。
- (6) 理事会 ・第1日目の11時30分～12時30分まで、生涯学習研究センター・A講義室にて開きます。理事の方はお集まりください。

- (7) 昼食
- ・第1日目、第2日目いずれも生協食堂は営業しておりません。キャンパス内のコンビニエンスストア、大学周辺の食堂等をご利用ください。
 - ・弁当も用意します。ご希望の方は、郵便振替用紙に記入し、代金（800円）をお振込みください。
- (8) 見学会
- ・第3日目（24日）に、①コマツ小山工場、②関東職業能力開発大学校を見学します。ご希望の方は事前に大会実行委員会まで電子メールあるいはFaxにてご連絡ください。すでに「参加・不参加連絡ハガキ」で申し込まれた方は連絡の必要はありません。
 - ・昼食の弁当（800円）も事前にお申し込みください。代金は郵便振替用紙にてお振り込みください。昼食は関東職業能力開発大学校内にてとる予定です。
- (9) 控室等
- ・第2日目に会員控室（教育学部棟2階2203教室）を用意し、お茶等を用意します。ご利用ください。
 - ・喫煙は屋外の決められた場所で行います。
- (10) 連絡先
- 日本産業教育学会第52回大会実行委員会
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
宇都宮大学教育学部・丸山剛史研究室内
Tel・Fax：028-649-5336
Tel：090-3514-1081（緊急時のみ、丸山）
E-mail：marusan@cc.utsunomiya-u.ac.jp

3. 記念講演・シンポジウム

10月22日(土) 13:30~18:00

共通教育棟・1121教室

【記念講演】

演題 『教育』の諸問題と改革の視座
——誰もが誇りを持てる職業と自立をめざして——

田 中 萬 年 (職業能力開発総合大学校名誉教授)

【シンポジウム】

テーマ「転換期の企業内教育」

司 会 佐々木 英 一 (追手門学院大学)

報告者 谷 口 雄 治 (職業能力開発総合大学校、職業訓練)

牧 野 篤 (東京大学、社会教育)

永 田 萬 享 (福岡教育大学、企業内教育)

田 島 鉄 也 (日産自動車株式会社・栃木工場・総務部
人事課)

趣旨：

1990年代後半以降の経済環境、雇用状況の変化の中で、わが国の職業教育・訓練の在り方について再考を余儀なくされてきている。従来の、学校教育においてはいわゆる **trainability** を、具体的な職業教育・訓練は企業内教育でという大枠の図式が変化し始めて久しい。

企業内教育が従来のように、多くの成長世代の教育訓練を担うことができなくなった今日、学校教育、公共職業訓練、企業、そして社会教育はどのような役割を果たすべきなのかを、あらためて考えてみたい。

シンポジウムでは、こうした状況の中で、各々の分野で現在どのような変化と方向性がみられるのかを示していただき、全体としてわが国の職業教育・訓練の今後の在り方を探っていききたい。

4. 自由研究発表

【A分科会】

10月23日（日）9：10～11：45
教育学部棟・2201教室

司会： 上里 正男（山梨大学）

9：10～9：35

1. 中学生の進路決定に及ぼす技術科教育の効果（影響）
に関する一考察
内田 康彦（荒川区立第九中学校）

9：35～10：00

2. 工業高等学校卒業生の工業界における役割に関する事例研究（第1報）
吉田 豊（宇都宮大学大学院研究生）

10：00～10：25

3. 総合学科生徒の生活体験講座についての考察
——パス解析と共分散構造分析（構造方程式モデリング）による分析——
湯尾 慎一（芦屋大学・非）
吉田 隆夫（芦屋大学）

10：25～10：50

4. 「文検」手工科における試験問題の特質
疋田 祥人（大阪工業大学）

10：50～11：15

5. 昭和10年代、科学技術教育を目指した自由学園男子部の“工作”
森下 一期（和光学園）

11：15～11：45

総括討論

【B分科会】

10月23日（日）9：10～11：45
教育学部棟・2202教室

司会： 植上 一希（福岡大学）

9：10～9：35

1. 鑑定証書に貼付された複製絵画の著作権法上の評価
櫻井 博行（雇用・能力開発機構）

9：35～10：00

2. 大学生の情報素養涵養のための評価システムのアップグレード
——韓国 ITQ 国家公認資格試験を例として——
金 永鍾（金沢工業大学）
丁 炫用（大田大学校教養教育院）

10：00～10：25

3. 若者のアイデンティティ形成と職場の教育プログラム
——正規雇用就職者の仕事をめぐる時間的展望に着目して——
船山 万里子（東京大学大学院・学生）

10：25～10：50

4. 高等教育教員の職務と能力開発
——短期大学と専門学校に焦点をあてて——
吉本 圭一（九州大学）
稲永 由紀（筑波大学）
張 玉琳（九州大学大学院・学生）
川俣 美砂子（福岡女子短期大学）

10：50～11：15

5. 職業教育の高等教育化について
齋藤 健次郎（宇都宮文星短期大学）

11：15～11：45

総括討論

【C分科会】

10月23日（日）9：10～11：20
教育学部棟・マルチメディア1教室

司会： 佐藤 浩章（愛媛大学）

9：10～9：35

1. 戦後における郡是女子従業員の帰属意識の形成
田中 卓也（吉備国際大学）

9：35～10：00

2. 職業教育における実習の重要性
——社会人基礎力に注目して——
奥田 美都子（職業能力開発総合大学校）

10：00～10：25

3. 企業内教育としての連携教育の歴史的研究
——A社の事例を中心として——
坂本 学之（名古屋大学大学院・学生）
横山 悦生（名古屋大学）

10：25～10：50

4. 中小企業労働者の職業能力形成における学校教育の役割
小杉 礼子（労働政策研究・研修機構）

10：50～11：20

総括討論

【D分科会】

10月23日（日）9：10～11：45
教育学部棟・マルチメディア2教室

司会： 横尾 恒隆（横浜国立大学）

9：10～9：35

1. フランスにおける進学指導の成立過程に関する研究序説
——職業指導との関係性に着目して——
京免 徹雄（郡山女子大学）

9：35～10：00

2. 日本の専門学校と中国「高職高専」との比較
汪 菁菁（大東文化大学大学院）
趙 慧斌（同上）
沼口 博（大東文化大学）

10：00～10：25

3. 米国のハイスクールにおける職業教育カリキュラム
——南部地域教育連盟の *Preparation for Tomorrow*
プロジェクトの分析——
石嶺 ちづる（自由が丘産能短期大学）

10：25～10：50

4. アメリカ中等職業教育における高大接続
西 美江（関西女子短期大学）

10：50～11：15

5. 北欧（フィンランドとスウェーデン）における職業教育・訓練の最近の改革動向について
横山 悦生（名古屋大学）
沼口 博（大東文化大学）

11：15～11：45

総括討論

5. 部会

10月23日（日）14：30～17：00

【企業内教育部会】

教育学部棟・2201 教室

テーマ 「主体的な職業能力の形成を目指して

—学校教育からインターンシップを通して企業内教育へ—

昨年度の企業内教育部会の課題として、第一に学校教育の中で、どのように生徒・学生の主体性の形成を行っているのか、学生・生徒を主体者として育てているのかという問題提起が行われた。このことに学校教育現場で取り組んでいる実践例などを紹介したい。第二に学校と企業(会社、社会)を繋ぐインターンシップや職場実習の実施がWIN・WINの関係になっているのか、学校は企業に丸投げ、企業は余計な仕事という意識で受けてはいないかなどの問題が提起された。これら双方がWIN・WIN関係を築くためにはどうすればいいのか？更に第三点として企業内教育風土と主体性の形成の問題が提起された。今年度はこれらの課題に、学校や企業でどのように取り組んでいるのかについて、実態の紹介を含め、三人の方から報告を受け、フロアーと交流しながら主体的な職業能力の形成という課題に迫っていきたい。

コーディネーター：横山悦生（名古屋大学）

パネラー： 中津留 秀男（パナソニック・バッテリー人事部）、
他3名（高校、民間コンサルタント）

【高校職業教育部会】

教育学部棟・2202 教室

高校職業教育部会では、昨年度に引き続き、高校における職業教育及びキャリア教育に関する報告とそれに関わる論点について協議したいと考えています。本年度は農業教育と工業教育に関する発表を3つ予定しております。

第一に、東洋大学の阿部英之助氏には、農業高校の存在意義とその役割に着目しながら、農業高校の現状と課題を分析していただきます。合わせて同氏がフィールドワークとしている山形県の農業高校の実践や進路等に関しても具体的な提案がされる予定です。第二に、宇都宮工業高校の湯沢修一氏には、本大会開催地の栃木県の工業教育に関してご報告いただきます。その一環として、宇都宮工業高校における専門教育の取り組みの実態や課題なども合わせてご紹介いただく予定です。第三に、東京都立田無工業高校の辰巳育男氏には、東京都の工業教育の現状報告をしていただき、同校における工業の専門教育の実践例を紹介していただきます。

この他、商業や水産等の職業教育にすること案・ご意見も協議の中では取り上げたいと考えていますので、多くの方のご参加を期待しています。

【専修学校部会】 教育学部棟・マルチメディア 1 教室

テーマ 「専門学校¹の教育課程と実績について
——新学校種の創設も視野に入れて——」

開会挨拶： 岡本 比呂志（学校法人 中央情報学園）

発表者及び演題：

(1) 「専門学校¹の教育とキャリア形成から」

植上 一希（福岡大学人文学部）

概要：近著「専門学校¹の教育とキャリア形成」から専門学校における教育とキャリア形成についての説明を中心に、現状の専門学校¹の教育の内容と効果について説明と検討を行う。専門学校関係者以外からの専門学校分析として新たな目で見えた現状分析に期待できる。

(2) 「医療系専門学校¹の強みに関する一考察

——教育課程と教員の定性分析を通して——」

安田 実（森ノ宮医療大学保健医療学部）

概要：医療系の専門学校と大学を同時に運営する学園¹における両者の比較とそれぞれの長所短所について、事例を挙げて説明を行う予定である。制度面だけではなく、教員や学生の気質の違い等、学園内部の者でしか理解できない些細な違い等も含めて、事例研究を行う予定である。

(3) 質疑応答

司会運営： 平田 眞一（学校法人第一平田学園）

【職業指導・進路指導部会】 教育学部棟・マルチメディア 2 教室

テーマ 「キャリア教育・進路指導の課題
——各学校段階における導入課題を中心として——」

1999年12月の中央教育審議会答申（小学校段階からのキャリア教育の実施を求めた「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」）から始まった、キャリア教育の構想は、2011年4月の大学等設置基準の改正によって高等教育段階までたどり着いたと言える。

しかしながら、教育現場では未だにキャリア教育の具体像や、職業教育とキャリア教育との関連もそれほど明らかになっているわけでもないのが現状である。

そこで、本シンポジウムでは、小学校から大学までの各学校段階におけるキャリア教育導入に関わる現状と課題を、現場からの導入経緯やキャリア教育の実践研究報告から探って行きたい。

コーディネーター：伊藤 彰茂（愛知みずほ大学）

シンポジスト： 高綱 睦美（愛知教育大学）

森田 浩（ジョブカフェ石川）

小境 幸子（埼玉県岩槻商業高等学校）

末廣 啓子（宇都宮大学）

6. 見学会

10月24日（月）9：00～15：00

(1) 見学先

- ① コマツ（株式会社・小松製作所）小山工場
所在地 小山市横倉新田 400
- ② 関東職業能力開発大学校
所在地 小山市横倉三竹 612-1

(2) 集合場所・時間

宇都宮大学・峰キャンパス・正門 9時集合

※ 集合場所から見学先までは宇都宮大学所有のバスにて移動。

(3) 参加申込

- ・バスの利用を希望される場合は事前に電子メールあるいは Fax にてご連絡ください。すでに「参加・不参加連絡ハガキ」で申し込まれた方は連絡の必要はありません。
- ・昼食の弁当（800円）も事前にお申し込みください。代金は郵便振替用紙にてお振り込みください。昼食は関東職業能力開発大学校内にてとる予定です。

7. アクセス

東京から宇都宮までは、東北新幹線で約1時間、東北本線（宇都宮線）でも上野駅から快速で約1時間30分。JR宇都宮駅下車。

【バス】

JR宇都宮駅西口からバスで約15分。片道200円。JRバス（3番乗り場）と東野バス（14番乗り場）の2社のバスが運行しています。JRバスの場合、清原台団地、清原球場、祖母井（うばがい）、茂木（もてぎ）行に乗車し、「宇大前（うだいまえ）」下車。東野バスの場合、真岡、益子、海星学院、清原球場行に乗車し、「宇大前（うだいまえ）」下車。

JR宇都宮駅東口からもバスに乗車できます。JR宇都宮駅＝宇大循環（左回り）。乗車時間は約10分。片道150円。関東バスのバスが運行しています。「宇都宮大学前」下車。ただし、運行本数が多くありません（1時間に1本程度）。

【タクシー】

タクシーの場合は駅東口タクシー乗り場から約10分。料金は1,000円前後。

8. 会場

【峰キャンパス内】

22日（土） 理事会・講演・シンポ：③共通教育棟，懇親会：⑮大学会館

23日（日） 自由研究発表、部会：⑩教育学部棟



【教育学部棟内】（23日）

（省略）

日本産業教育学会第 52 回大会実行委員会

相談役 齋藤 健次郎 (宇都宮文星短期大学)
実行委員長 丸山 剛史 (宇都宮大学)
実行委員 砂田 栄光 (関東職業能力開発大学校)
真下 弘征 (宇都宮大学名誉教授)
吉田 豊 (前・栃木県立真岡工業高等学校長)
良 香織 (宇都宮大学)
協力 宇都宮大学大学院教育学研究科カリキュラム開発専攻学生、宇都宮大学教育学部学校教育専攻学生

日本産業教育学会第 52 回大会プログラム

発行：2011 年 9 月 29 日

編集 日本産業教育学会第 52 回大会実行委員会
(宇都宮大学教育学部・丸山剛史研究室内)
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350
Tel・Fax：028-649-5336
Tel：090-3514-1081 (緊急時、丸山)
E-mail：marusan@cc.utsunomiya-u.ac.jp

印刷所 タチカワ印刷
〒201-0005 東京都狛江市岩戸南 1-5-12
Tel：03-3480-5279
E-mail：tckw@tokyo.email.ne.jp